令和７年度無償資金協力「アディスアベバにおける感染症治療専門病院整備計画」交換文書の署名式

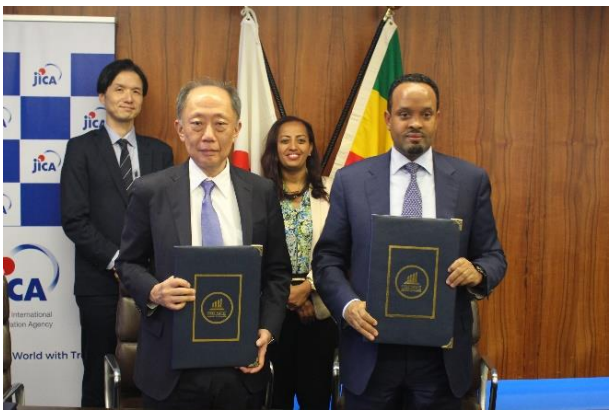
2025 年 5 月 16 日（金）、エチオピア財務省において、柴田大使、アフメド・シデ財務大臣、メクデス保健大臣、高野 JICA エチオピア事務所次長出席のもと、令和 7 年度無償資金協力「アディスアベバにおける感染症治療専門病院整備計画」に係る交換文書の署名式が行われました。

本案件は、約 25.21 億円（約 17.4 百万米ドル）を供与限度額として、アディスアベバ市内の国立セントピーターズ専門病院に感染症専門病棟を新設し、CT スキャンを含む医療機器を整備するものです。同病院は、検査・治療サービスを提供するとともに、医療従事者を対象とした感染症に係る研修を提供しており、本案件の実施を通じて適切な感染管理が可能となることで、約 3 万人の患者が必要な検査・治療を受診できるようになり、また、1,200 人の病院職員の勤務環境が改善されるとともに、臨床研修を含む質の高い研修を提供できるようになります。

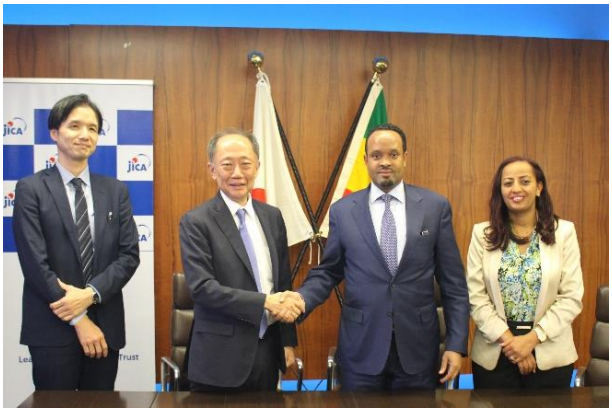
加えて、同病院は、エチオピアのみならず東アフリカ地域全体の感染症管理においても重要な役割を果たす拠点となることが期待されています。

式典において、柴田大使は、エチオピアの様々な保健プロジェクトに対する日本の継続的な支援に触れ、保健セクターの重要性を強調すると共に、「日本は 2022 年の第 8 回アフリカ開発会議（TICAD8）において、保健医療施設の整備等を通じた 150 万人のための保健医療サービスの拡充を表明しており、本案件はこのコミットメントの重要な実践の一つである」と述べました。

署名の様子



署名文書の交換



向かって左から、高野 JICA エチオピア事務所次長、柴田大使、アフメド財務大臣、メクデス保健大臣

署名式に参加した両国関係者